

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族と話し合う場となる半年に一度のカンファレンスを行う機会に、家族の意見や意向を運営に反映させる意義を説明し、家族への参加の要請を行う。	家族との面会時におけるコミュニケーションとは別に、介護計画書を作成する際のカンファレンスを全員に位置づける。	全入居者の家族がカンファレンスに参加してもらえるよう家族に改めてカンファレンスの意義を説明する。カンファレンス(電話によるものも含む)では、全入居者の家族の意見や意向を聞き取り、サービスに反映させる。	6ヶ月
2	26	現在の介護計画書は健康面やADLが中心になっているが、本人の願いや楽しみごとに注目し笑顔が増える介護計画となるよう書式も含め計画を見直す。	本人の願いや楽しみごとが実現でき、笑顔が増える介護とする。	介護計画書の書式の中に「生活の目標と楽しみ～笑顔が生まれるよう～」という欄を設け、カンファレンス等で掴んだ内容を記入し、本人とともに取り組む。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。